

## 木曾川水系連絡導水路事業の推進を求める意見書

可茂・東濃地域では、水道水のほとんどを木曾川に依存しており、牧尾ダム、阿木川ダム、味噌川ダム、岩屋ダムを非常に重要な水源として位置付けている。

しかし、これらのダムについては、計画された当時と比較すると、近年では年間の降水量の変動幅が大きくなり、また、年間降水量は減少傾向を示していることから、ダムの供給能力が大きく低下してきており、全国的にみても木曾川水系は水不足が深刻な水系と言われている。

可茂・東濃地域では、過去10年間において数回の取水制限を実施しており、その都度、各関係機関の協力を得て渇水対策を図ってきたが、安全で安定した生活環境を確保するためには、抜本的な渇水対策が急務となっている。

こうしたことから、ダムの利水安全度が向上し、可茂・東濃地域の渇水対策として大きな効果が期待される木曾川水系連絡導水路事業の推進が望まれる。

よって、国におかれては、木曾川水系連絡導水路事業の必要性を十分認識するとともに、責任を持って事業の推進を図り、一日も早く完成させることを強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成22年3月24日

岐阜県美濃加茂市議会

提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、  
国土交通大臣